



(撮影：星子 廉彰 氏 提供)

希望と不安の巣立ち

今年六月中旬、トラフツクの巣立ちです。

抱卵日数二十七日～二十八日、巣立ちまでの日数二十三日～二十四日で巣立ち直後の様子です。

フクロウ科の仲間エゾフクロウと比較し個体数は多くはありません。

一般の人の入らない人里離れた森林に夏鳥として少数生息し、繁殖します。

北海道の希少種に指定され、人の目に触れる事はあまりありません。

自然環境を大切にして見守っていきたいものです。

日本は今、国も地方も財政危機に

陥り大変な状況ですが、高度成長を遂げる為、ハイペースで突き進んで来た途中で置き忘れてきた物「心」をスロ

ーペースの歩みに変えて振り返り、思い出し、取り戻せたなら、確かな歩み

になり、自然の恵みに感謝をしたり、人のために尽くす人が多くなる、子供

たちも変わり心豊かな未来に変わる契機となる。

災い転じて福と成ることを願っています。

議会広報特別委員会（稲村）

あ
と
が
き

私・の・好・き・な

深・緑・の・巣・立・ち